

みなとみらい
MEMORIAL
BOOK 1983-2023

THE SCENERY OF THE COASTAL CITY ESTABLISHED IN 1983



MINATO MIRAI 21

みなとをつむぎ 未来をえがく

みなとをつむぎ みらいをえがく

40年の時が映る、みなとみらい21。
産業と文化の革新と一緒に歩み
臨海都市の景色を紡いできました。

そして、今、海と空が会う場所から吹く風は、
人々の心を通り抜けて
あたらしい創造の風となっています。

産業、文化、芸術を探求し、
未来へつなぐ。

新たな発見と出会い、そして夢。
私たち一人ひとりの手によってえがかれる
みらいの景色がはじまります。

私たちが希望に満ちた 「みなとみらい」を思い描いています

みなとみらい21事業着工40周年おめでとうございます。
横浜市六大事業の中核的プロジェクトとして開発を進めてきたみなとみらい21地区は、着工から40年の歳月を経て、今や13万人以上が働く首都圏を代表する街へと成長しました。
これからも特色ある周辺地区と一緒に都心臨海部の活性化に取り組む、GX・脱炭素化を率先して進めることで都市の持続可能性を高め、人や企業が集い、つながり、新しい価値を生み出し続ける街づくりを、皆様とともに進めてまいります。



横浜市長
山中竹春

1983年の着工から40周年を迎えます。この間、バブル経済の崩壊やリーマンショック後の先の見えない開発停滞の荒波も被ってきました。そうした中で、街の完成が近付き、みなとみらい21の街づくりを担う多様な施設、企業、人材がほぼ出そろい、いよいよ、本格的に「感動と新たな価値」を生み出してゆくステージに入ります。40周年をその起点とし、これまでの軌跡を踏みしめながら、分野の垣根を超え交流や協働を進め、皆様としっかりとスクラムを組み、首都圏ベイエリアの特色ある街づくりに向け、未来を描いていきたいと思っております。



一般社団法人
横浜みなとみらい21理事長
坂和伸賢

みなとみらいの事業着工40周年を記念してさまざまなイベントを開催。実行委員会スタッフのコメントとともに紹介します!

40周年記念事業のご紹介



みなとみらい40周年 キービジュアルが決定!

40年の時をかけて紡いできた、みなとみらいの景色を鮮やかな図形でシンボリックに。見る人の想像力をかき立て、みなとみらいの明るい未来を想起させるデザインが完成しました。



「すてきな提案が多く悩みましたが、みなとみらいらしさがあふれるこのデザインに!」(左)小林広美/(右)大井綾子



第2回 10/27金、第1回 8/25金※終了

大人気のゲームを通して
さまざまな人と交流を育む

eスポーツイベント

地区内の人々の交流促進を主な目的として、eスポーツ大会を開催。グランツーリスモ7、ポケモンユナイトなど、ゲームを通して多くの交流が生まれています。



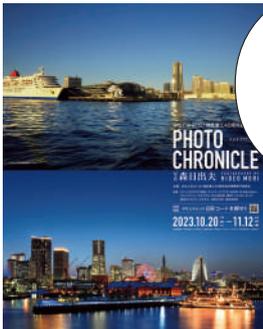
「eスポーツを通して、みなとみらいが盛り上がり、皆さんがつながってほしいです!」
柳澤敦



10/20金~11/12日

1960年代からの
変遷を写真で魅せる
フォトクロニクル

約40年間の「みなとみらいの記憶」を魅せるフォトクロニクルを11の会場で開催。横浜を代表する写真家・森日出夫氏が撮影した写真をぜひ。



「約300点ものすてきな写真でみなとみらいの記憶をたどりませ。皆さんの記憶も一緒に重ねてみては!?」 深江多美子



まだまだある40周年コンテンツ!

8/7月~11/8水

クイーンズスクエア横浜
エスカレーター手すり装飾

みなとみらい駅からの乗客が最初に目にするクイーンズスクエア横浜内のエスカレーターに、期間限定で特別な装飾を施します。



10/1日~11/12日

40周年記念コースターを
配布します!

みなとみらい40周年キービジュアルをあしらった特別コースターをみなとみらい商業施設などで配布します。裏面にはメッセージも。



10/1日~11/12日

大観覧車「コスモクロック21」
特別イルミネーション

よこはまコスモワールド 大観覧車「コスモクロック21」で特別なイルミネーションを展開。家族や友人と貴重な夜景を見に出かけよう!



11/8水

「みなとみらいの未来を描く」
大会議を開催

シンポジウム

街の96%以上が開発され、建設の時代からの転換期を迎えるにあたり、神奈川大学みなとみらいキャンパス 米田吉盛記念ホールにてシンポジウムを開催。みなとみらいの軌跡についての講演と、未来について「都市開発」「文化」「先進性」「大学」という4つの視点での有識者のトークセッションを実施します。

「たくさんの方の夢と希望が詰まった街、みなとみらいの「未来」をみんなで考えましょう!」
岩崎正浩



10/6金~11/5日

ライブ演奏やイベント、キッチンカーを楽しもう

MM Grass Park 2023

公共空間を活用したにぎわい演出の取り組みとして、グランモール公園に人工芝やテーブル・チェアなどを設置し、ライブ演奏、イベント、キッチンカーなどを楽しみながら、人々が気軽に交流できる場をつくります。



「くつろぎ度満点のこれまでにない新公園空間です! 各種イベントと一緒に体験してください」
平山美智雄



11/3金祝

ラジオの公開収録や
ライブ&パフォーマンスは必見!

Music Port YOKOHAMA のキックオフイベント

ランドマークプラザ サカタのタネガーデンスクエアで、FMヨコハマの公開収録やアーティストのライブを開催。グランモール公園では、ライブパフォーマンスのほか、ワークショップも。気軽に音楽を楽しんで。

「かなフィルや消防音楽隊、STREET MUSICなど、音であふれる一日を!」
(左)江澤ちどり/(右)大崎典子



2024年3月まで毎月1回開催

みなとみらい勤務や在住の人
と気軽につながろう!

ミートアップ21

みなとみらいにお勤めの方やお住まいの方がゆるやかに交流できる場が誕生。神奈川大学みなとみらいキャンパス1階レストラン「VOYAGE」にて、月1回開催しています。

「気軽に出会い、交流し、つながりが生まれる場です! 興味のあるテーマからぜひご参加を」
古木淳



みなとみらいを振り返る! 歴史・重大ニュース

第一期

構想(1965~1982年)

戦後の二分された都市をつなぐ横浜市の六大事業の一つとしてスタート

1965年、横浜が打ち出した「六大事業」の一つ、都心部強化事業の中で「みなとみらい21事業」の構想を発表。開港以来の都心である関内・伊勢佐木町地区と急速に都市化した横浜駅周辺地区の一体化と再整備がねらいでした。2つの都心に挟まれた臨海部の埠頭や造船所は、時代に合った機能更新を図るため本牧埠頭や金沢地先埋立地に移転するなどし、跡地に都市機能を集積しようとしたのです。



© 森日出夫 1965年撮影



1981年、公募により「みなとみらい21」という愛称が決定。未来の港町をつくりだすイメージが盛り込まれていることが理由。シンボルマークは1985年に公募で決定。円は「世界・地球・宇宙」を、ブルーは「海」を、2羽のカモメは「未来にはばたく」ことをそれぞれ意図しています。

第二期

基盤整備(1983~1992年)

土地区画整理事業などの都市計画が決定。
みなとみらい21事業が着工!

1983年に都市計画が決定し、横浜のウォーターフロントにおける新しい都心づくりとしてみなとみらい21事業が着工。総面積約186ヘクタール。埋め立て事業、土地区画整理事業、港湾整備事業などの都市基盤の整備が進められます。バブル景気真っただ中の1989年、「横浜博覧会(YES '89)」でみなとみらい21エリアは初めて一般公開。大観覧車「コスモクロック21」を中心に多くの注目を集めました。



横浜市史資料室所蔵資料



© 森日出夫 1985年撮影



横浜都市みらい
代表取締役社長
つばしん こと
梶 真吾 さん

着工時の想像を超える 魅力を兼ね備えた街に

私が携わった着工当時には、これほど多彩なコンテンツが集まる街になるとは思っていませんでした。企業や人が街に集まり、魅力的なみなとみらいをつくっていることを日々実感。想像を超える進化を続けています。

1965年

・横浜市が「六大事業」の一つとして「都心部強化事業」を発表

1980年

・三菱重工業(株)横浜造船所の移転が決定

1981年

・計画及び事業の名称を「みなとみらい21」に決定

1983年

・三菱重工業(株)横浜造船所の移転完了
・帆船日本丸の横浜市移管が決定
・みなとみらい21事業着工

1984年

・(株)横浜みなとみらい21設立
(2009年3月解散)

1985年

・日本丸メモリアルパーク一部供用開始
・帆船日本丸の一般公開開始
・横浜新都市ビル
(「そごう横浜店」オープン)

1988年

・みなとみらい21街づくり
基本協定を締結

1989年

・「横浜博覧会(YES '89)」開催



© 森日出夫

・横浜マリタイムミュージアム
(現・横浜みなと博物館)オープン
・臨港パーク一部供用開始
・横浜美術館正式オープン

1991年

・パシフィコ横浜(横浜国際平和会議場)オープン
・ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルオープン
・パシフィコ横浜展示ホールオープン
・「テレポートよこはま '91(世界テレポート連合第7回総会)」開催

1992年

・首都高速みなとみらいランプ
全方向供用開始

1993年

・横浜ランドマークタワーオープン
・横浜銀行本店ビルオープン
・横浜ロイヤルパークホテル
ニッコー(現・横浜ロイヤルパークホテル)
オープン

1994年

・国立横浜国際会議場オープン
・三菱重工横浜ビルオープン

1995年

・横浜海上防災基地完成

1996年

・けいゆう病院オープン
・スカイビルオープン

2023年、みなとみらいは着工から40周年を迎えます。
懐かしい写真とともに構想の背景と40年の軌跡を振り返ります。

2023年で開発開始から40年!



写真提供 / パシフィコ横浜

国際都市ヨコハマの重要拠点!

パシフィコ横浜

(横浜国際平和会議場)

着工1988年 / オープン1991年

会議場・展示場・ホテルが1か所に集積する複合MICE施設として、いち早く誕生。東日本唯一の国立国際会議場も有し、2010年日本APEC横浜や第7回アフリカ開発会議など、国際会議の開催実績は国内トップクラス。同じ建物内にはITTOなどの国際機関も入居する横浜国際協力センターもあり、世界の人々が出会い、新しいものを生み出す拠点となっています。

横浜ランドマークタワー工事中の1992年ごろ。多くの高層ビルが立ち並ぶ今ではもう見られない貴重な風景。



© 森日出夫 1992年撮影

第三期

街区開発(1993~2022年)

地区全体のシンボルと言える「横浜ランドマークタワー」など次々開発!



みなとの情景を伝える!賑わいスポット

赤レンガ倉庫

着工1994年(改修) / オープン2002年

明治末期~大正初期に建てられたレンガ建築で、約9年をかけて、文化・商業施設として再生しました。歴史的建築物の風格や存在感を残しつつ、定期的にイベントも開催。賑わいと文化の創造拠点として愛されています。

高さ296m!みなとみらいのシンボル

横浜ランドマークタワー

着工1990年 / オープン1993年

オフィスやホテル、ショッピングモールなどからなる複合施設。民間開発の先駆けとして、洗練された美しい街づくりを方向づけ、その後の開発に大きな影響を与えました。内部の5層吹き抜けの大空間では、さまざまなイベントが開催され、街の賑わいの中心となっています。

写真提供 / 三菱地所株式会社



1997年

- 横浜桜木郵便局オープン
- クイーンズスクエア横浜オープン
- 日石横浜ビルオープン
- パンパシフィックホテル横浜(現:横浜ベイホテル東急)オープン

1998年

- 横浜みなとみらいホールオープン

1999年

- よこはまコスモワールド正式オープン
- 横浜メディアタワーオープン
- 新港地区街開き



写真提供 / 横浜市

- 横浜ワールドポーターズオープン
- 運河パークオープン
- 横浜国際船員センター「ナビオス横浜」オープン
- グランモール公園全面オープン

2000年

- 神奈川県警察みなとみらい分庁舎オープン
- クロスゲート、横浜桜木町ワシントンホテルオープン

2001年

- 新港パーク(現:カップヌードルミュージアムパーク)オープン

2002年

- 山下臨海線プロムナードオープン
- 赤レンガ倉庫、赤レンガパークオープン
- JICA横浜オープン

2003年

- M.M. TOWERS(マンション)竣工

2004年

- みなとみらい線開通
- 富士ソフトABCビル(現:富士ソフトビル)オープン
- 県民共済プラザビルオープン
- リーフみなとみらいオープン
- みなとみらいビジネススクエアオープン

2005年

- 横浜みなとみらい万葉倶楽部オープン

2007年

- 国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所復帰移転工事竣工
- M.M. MID SQUARE(マンション)竣工
- 高島中央公園オープン
- Brillia Grande みなとみらい(マンション)竣工
- MMパークビルオープン

2008年

- M.M. TOWERS FORESIS(マンション)竣工
- 「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」開催
- パシフィックロイヤルコートみなとみらい(マンション)竣工
- シンクロン本社ビルオープン

2009年

- (一社)横浜みなとみらい21設立
- 横浜開港150周年記念「開国博Y150」開催
- 象の鼻パークオープン
- 日産自動車株式会社グローバル本社オープン
- 横浜ブルーアベニューオープン



都心とのアクセス向上!

みなとみらい線

着工1991年／オープン2004年

横浜都心臨海部を貫く4.1kmの路線で、東急東横線との直通運転により東京からのアクセスが格段に向上。みなとみらい、中華街、元町、山下町など、横浜を代表する業務、商業、観光エリアを結びます。現在は、相互直通ネットワークの拡大により、新宿、池袋、埼玉までダイレクトにつながっています。

写真提供 / 横浜高速鉄道株式会社

歴史と景観が魅せる!
新しい空間の誕生

象の鼻パーク

着工2006年／オープン2009年

横浜発祥の地、象の鼻地区。2009年に横浜開港150周年を記念して、歴史と景観を生かした緑地「象の鼻パーク」がオープン。それまで分断されていた、新港地区と山下公園方面がつながり、海沿いの景観を楽しみながら、多くの人が行き交えるように。



写真提供 / 横浜ハンマーヘッド

海で世界につながる

新港ふ頭客船ターミナル
(横浜ハンマーヘッド)

着工2018年／オープン2019年

商業施設、ホテル、客船ターミナルの3つの機能を兼ね備えた日本初の複合施設。みなとみらいに海外からの玄関口が新たに加わりました。100年以上の歴史を持つ、土木遺産認定のハンマーヘッドクレーンがそびえる「ハンマーヘッドパーク」は憩いの場。

オフィスビルや研究開発拠点が集積!

資生堂グローバル
イノベーションセンター(S/PARK)

着工2016年／オープン2019年

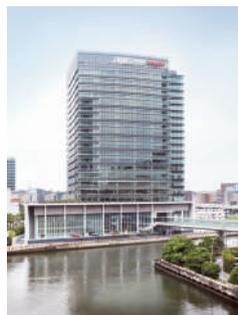
最先端の研究開発拠点。1、2階には、「美のひらめきと出会う場所」をコンセプトにした企業ミュージアムが整備され、資生堂のさまざまな魅力に触れられます。このあと、さまざまな研究機関が進出。



日産自動車株式会社
グローバル本社

着工2007年／オープン2009年

日産本社が発祥の地横浜に移転。1階には日産車や最新の技術が体感できるギャラリーがあります。2階には建物を貫く歩行者空間が整備され、横浜駅東口からの利便性が向上。同社移転を機にオフィスの進出が加速していきます。



写真提供 / 日産自動車株式会社

2010年

・TOC みなとみらい (現:ヒューリック みなとみらい)、ニューオータニイン横浜 (現:ニューオータニイン横浜プレミアム) オープン

・富士ゼロックス R&D スクエア (現:富士フイルムビジネスイノベーション (株)) オープン

・みなとみらいセンタービルオープン
・「APEC(アジア太平洋経済協力) 首脳会議」開催

2011年

・高島水際線公園オープン

・カップヌードルミュージアム (現:カップヌードルミュージアム 横浜) オープン

2012年

・みなとみらいグランドセントラルタワー オープン
・横浜三井ビルディングオープン

2013年

・「第5回アフリカ開発会議 (TICAD V)」開催

・MARK IS みなとみらいオープン

・Audi みなとみらいオープン

・グランドオリエンタルみなとみらいオープン

2014年

・アニヴェルセルみなとみらい横浜 オープン

・「気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第38回総会」開催

・PRIME GALLERY

みなとみらいオープン

・横浜アイマークプレイスオープン

・シンクロナ新館オープン

2015年

・グローバルラーニングセンター オープン

2016年

・MARINE & WALK YOKOHAMA オープン

・みなとみらい学園ビルオープン

・オーケーみなとみらいビルオープン

2017年

・フランスタワーみなとみらい (マンション) 竣工

・BLUE HARBOR TOWER

みなとみらい (マンション) 竣工

・「第50回アジア開発銀行 (ADB) 年次総会」開催

・横浜野村ビルオープン

・PRIME COAST みなとみらいオープン

・OCEAN GATE MINATO MIRAI

オープン

2019年

・資生堂グローバルイノベーションセンター (S/PARK) オープン

・横浜アンパンマンこどもミュージアム オープン

・「第7回アフリカ開発会議 (TICAD7)」

開催

・京急グループ本社オープン

・新港ふ頭客船ターミナル (横浜ハンマーヘッド)、インターコンチネンタル横浜 Pier8 オープン

2020年

・KTビルオープン

・横浜グランゲートオープン

・パシフィコ横浜ノースオープン

・横浜東急 REI ホテルオープン

・びあアリーナ MM オープン

・ハンマーヘッドパークオープン

・横浜ベイコート倶楽部 ホテル&スパリ

ゾート、ザ・カハラ・ホテル&リゾート

横浜オープン

・村田製作所みなとみらいイノベーション

センターオープン



© 森日出夫 2023年撮影

新しい魅力を発信し、今までにない音楽体験を!

大学を飛び出して、街全体をキャンパスに

神奈川大学 みなとみらいキャンパス

着工2018年／オープン2021年

地区内初の総合大学。幅広い分野の講座が開かれるなど、地域・社会・企業といったあらゆる人に開かれた人と知の交流拠点となっています。さらに、学生ならではの発想を地域に生かす取り組みもスタート。街に新たな風を吹き込んでいます。



神奈川大学 准教授
社会連携センター副所長
ゆきもとせい き
行本勢基 さん

組織の境界を越えた プレイス・ブランディングを

みなとみらいキャンパスを開設して3年。環境・経済・社会課題の解決を目指す活動を日々行っています。ミ二東京ではない、「横浜ならではの」柔軟なプレイス・ブランディングの一翼を担ってまいります。

2021年

- ・神奈川大学みなとみらいキャンパスオープン
- ・首都高速道路(株) 神奈川局オープン
- ・YOKOHAMA AIR CABINオープン
- ・ザ・スクエアホテル横浜みなとみらいオープン

2022年

- ・LG YOKOHAMA INNOVATION CENTERオープン
- ・横浜ゲートタワーオープン
- ・ウェスティンホテル横浜、The Apartment Bay YOKOHAMA オープン

2023年

- ・横浜コネクストスクエア竣工
- ・よこはま新港合同庁舎竣工
- ・三井ガーデンホテル 横浜みなとみらいプレミアオープン
- ・ミュージックテラス (Kアリーナ横浜、ヒルトン横浜、Kタワー横浜) オープン

※「みなとみらい21 Information vol.94」
年表「みなとみらい21の歩み」より一部抜粋

ミュージックテラス

着工2020年／オープン2023年

“音楽の街”へのブランディングを加速させる世界最大級の音楽に特化したアリーナが誕生。敷地内には、水辺を望むウッドデッキにレストランやショップ、ホテルなどが併設されており、各種イベントの開催も。日常から非日常へ。エンタメの新しい楽しみ方が、ここから広がっていきます。

第四期

「感動と新たな価値を生み出す」時代へ(2023年～)

© 森日出夫 2023年撮影



数字で見る!みなとみらいの「今」

- 来街者数 約6,680万人[2022年]
- 就業者数 約131,000人[2022年]
- 進出企業(事業所)数 約1,890社[2022年]
- 住民数 約9,000人[2023年2月] ※住民基本台帳に基づく
- 世帯数 約4,360世帯[2023年2月] ※住民基本台帳に基づく

オフィス、商業施設以外にも、こんなに施設がたくさん!

- ホテル 15か所
- ホール 12か所
- ミュージアム 20か所
- 研究開発拠点 22社※
- 学校 3校
- マンション 7件
- 公園・緑地 12か所

※横浜未来機構の会員のうち、届出住所がみなとみらい21地区内の会員数

(2023年9月現在)

約96%の開発が完了!

みなとみらいは新たな未来へ進みます

商業施設や文化施設などが集積し、街のほとんどが開発されたみなとみらい。これからは「建設の時代」から「次のステージ」へ。人々の力をかけ合わせながら、分野を超えて感動と新たな価値を届けていきます。

Point 01

イノベティブな取り組みで、ワクワクするような未来都市に

研究開発拠点やスタートアップ企業、大学が多く集まるみなとみらい。この先は、地域企業の交流で生み出された新しいアイデア、技術から、イノベーションの創出を目指します。スマートシティ、5G、メタバース、自動運転など、テクノロジーを活用したサービスの開発によって街の課題を解決。さらに、街中を巡りながら新しい技術でワクワクする体験を準備し、未来を感じられる機会を設けます。

OPEN INNOVATION



「横浜未来機構」
特設サイトはこちら



Point 02

音楽の街としてブランディング、さらに魅力あふれる街へ

昨今のみなとみらいは、「横浜みなとみらいホール」や「KT Zepp Yokohama」「ぴあアリーナMM」「Kアリーナ横浜」といった多様な音楽施設が集積し、さまざまなジャンルの質の高い演奏を楽しめる街になっています。これから

は、企業や行政、各団体が手を取り合い、みなとみらいでの体験や活動の場を増やし、誰もが音楽を楽しめる街に。音楽を通して、新たな出会いや、活動が生まれる魅力あふれる街となることが期待されています。

Music Port YOKOHAMA



「Music Port YOKOHAMA」
特設サイトはこちら



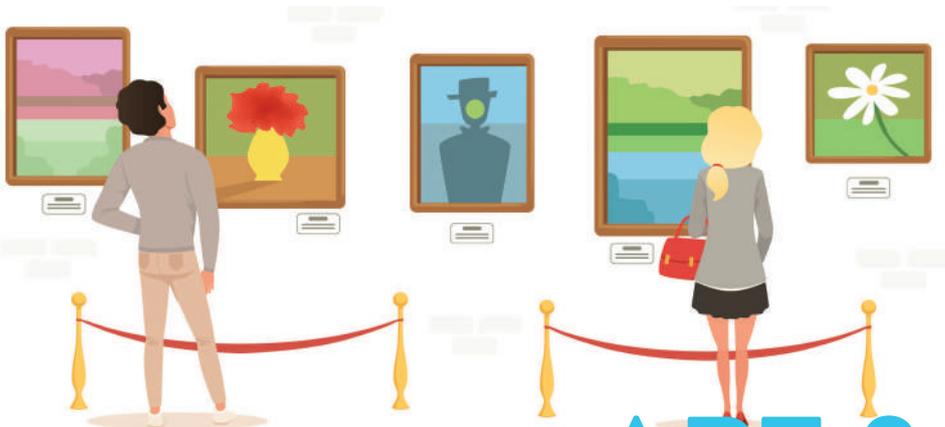
40年かけて、みなとみらいにはさまざまなプレイヤーが集合。分野を超えた人々のつながりで「感動」と「新たな価値」を生み出すための取り組みが始まっています。

未来に向けた4つのテーマが始動。

Point 03

新たな「知」や「気づき」と 出会うきっかけに

ショッピングや観光、ビジネスだけでなく、企業の最新技術や歴史、文化、アートにも出会うミュージアムが豊富にあるのも、みなとみらいならではの魅力。約20の施設と連携して街を楽しく回遊する仕掛けづくりを行っています。また、街中にはパブリックアートも数多く点在。ミュージアムや街を巡り、新たな「知」や「気づき」と出会うきっかけを届けていきます。



ART & MUSEUM

「Art & Museum」
特設サイトはこちら



Point 04

脱炭素

「みなとみらい
エリアマネジメント公式サイト」
はこちら



横浜市×みなとみらいで 「大都市脱炭素化モデル」を構築

2022年に環境省の「脱炭素先行地域」に選定されたみなとみらい。横浜市と地区内の商業施設やオフィスビルなど各施設が一丸となって、再エネ電力の供給・受け入れや電力需給調整力の創出、資源循環の推進、地域冷暖房における熱の低・脱炭素化など、脱炭素化へ積極的に取り組んでいます。今後は、2030年までの「民生部門の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロ」を目指して地区全体で取り組んでいきます。



有識者たちもみなとみらいの未来に期待!



三菱地所(株)
執行役員 横浜支店長
たけだ とおる
竹田 徹 さん

街づくりは 新たなステージへ

みなとみらいは、行政と民間地権者が深く連携した先駆的な取り組みにより誕生しました。今後はこの街に集う多様なプレイヤーをいかに街づくりに巻き込むか。新たなステージに入ります。



横浜みなとみらいホール
館長
あらい おーこ
新井 鷗子 さん

音楽と社会をつなぐ ホールを目指して

多彩な企業やエンタメ、アートが集まる街・みなとみらい。私が目指しているのは、音楽と社会をつなげること。その橋渡し役として、「社会的に機能する音楽」をみなとみらいホールから発信していきたいです。



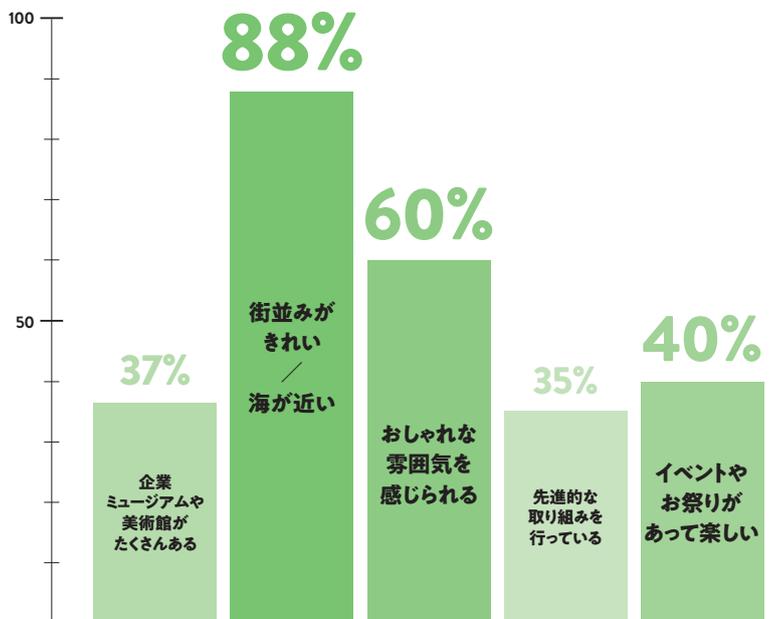
京セラ(株)執行役員
研究開発本部長
なかがわ しょういち
仲川 彰一 さん

街や人と一体となり、 価値を生み出したい

みなとみらいの街や人は、先進性を備えていると常々感じています。これからも、技術研究所として、街をとりまく人の課題と触れ合い、それに応えられる技術をつくっていく。それが私たちの使命だと思っています。

「みなとみらいの『みんなとみらい』」

Q1 | みなとみらいの好きなところは？



複数回答の中からトップ5をご紹介します

1 街並みがきれい / 海が近い

「美しい街並みは、他の都市にはないこの街の誇りです」(男性) / 「歴史的な建築物が多く、県外の友人を案内するのにぴったりです」(女性) / 「潮風を楽しみながら、海沿いを散策するのも心地いい」(男性)



©森日出夫



重厚感あふれる高層ビルが多い一方で、海に面し、緑や自然も多いところ。また、歴史的建造物やアミューズメントパークも立地しており、1つの街でなんでも楽しめるところが魅力です。

みなとみらい二十一熱供給株式会社
こし かず ま
越 一真 さん

3 イベントやお祭りがあって楽しい

「みなとみらいの至る所で、音楽やアート、ゲームなどのコラボイベントが開催されていて、いつどこに行っても楽しい」(女性) / 「国際会議や展示会が頻繁に行われている」(男性)

2 おしゃれな雰囲気を感じられる

「最先端な街のデザインに、想像力や思考が刺激されます」(男性) / 「雰囲気抜群のカフェやレストランが多い」(男性) / 「おしゃれなアイテムがそろって、使い勝手がいい」(女性)

Q2 | おすすめの「楽しみ方」を教えてください。

本当はあまり教えたくない秘密の場所なのですが(笑)、「JICA Yokohama Book Port」はいつも落ち着いていて、小さい子連れでもつろげるとっておきの憩いの場。港が近くて気持ちいいし、こういう場所があるところに、みなとみらいの懐の深さを感じます。 **女性**

JR桜木町駅前～新港地区の運河パークを結ぶロープウェイ「YOKOHAMA AIR CABIN」がおすすめ。往路でみなとみらいの全景を楽しんだあとは、ハンマーヘッドのレストランで料理を堪能。復路の美しい夜景も最高です。 **男性**

神奈川大学内のレストラン「VOYAGE」や、村田製作所の「Mulabo!」内にあるカフェなど、施設内にある飲食店は観光客が少なくとても穴場です。特にVOYAGEは大学内なのにディナータイムはビールが飲めて、家族でもよく利用しています！ **女性**

散歩するだけでもいろいろな出会いがあって楽しいのが、このエリアの魅力。季節や天候、時間、距離など、その日の気分に合わせて選びたい放題です。 **男性**

MMテラスの芝生の上で聴く「みなとみらいSTREET MUSIC」。目の前のカフェで買ったドリンクを飲みながら、木陰に座ってゆっくり音楽を楽しめます。ちょっと海外っぽくお気に入りです。 **女性**

みなとみらいには特色のある企業ミュージアムが多数あることも特長です。お食事やショッピングだけでなく、楽しみながら学べる企業ミュージアムの数々を訪問されてはいかがでしょう。

株式会社村田製作所(ムラーポ!)
なかざわ ちはる せきぐち はるみ
(左) 仲澤千春さん、(右) 関口晴巳さん



Q3 | みなとみらいの未来に期待することは？

1 文化的なことを体験できる

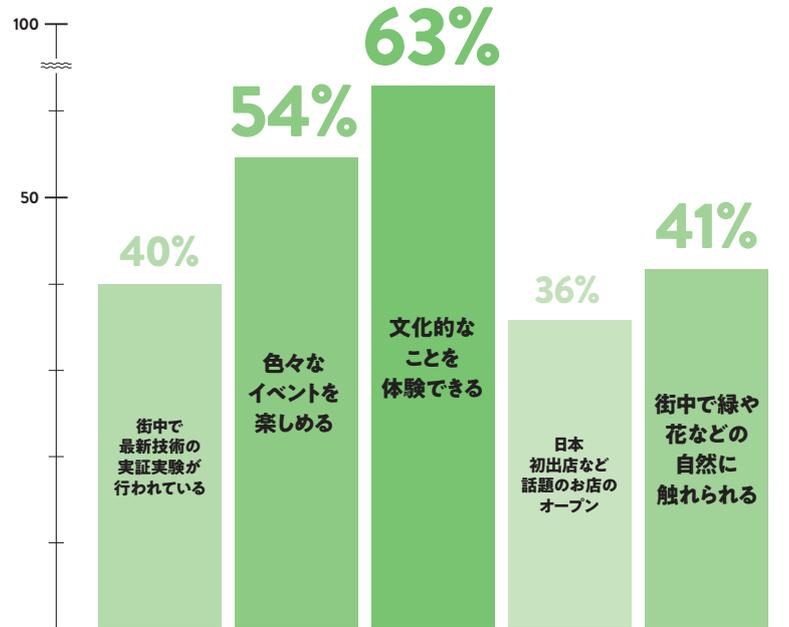
「鉄道発祥の地でもある、みなとみらい。いつかSLが走る姿を見たいです」(男性)／
「滞在型の音楽フェスティバルの開催を期待しています」(男性)／「音楽やアートを野外で
もっと楽しみたい」(男性)

2 色々なイベントを楽しめる (STREET MUSIC、ミュージアムなど)

「住民がもっと自由にイベントを企画できるような空間が増えたら、さらなるイノベーションが期待できそう」(男性)／「地域と住民が
一体となるようなコラボイベントで、みなとみらいをもっと盛り上げたい」(女性)

3 街中で緑や花などの自然に触れられる

「緑に囲まれながらお酒が飲める場所をもっと増やしてほしい」(女性)／「緑化を大胆に推し進めて、最先端の街を目指してほしい」(男性)／「自然をもっと取り入れてもらい、最終的にはホタルが見てみたい」(女性)



複数回答の中からトップ5をご紹介します

みなとみらい本町小学校
5年生
三崎さくらさん



今でもみなとみらいはいい街だけど、もっとよくしているな人にみなとみらいを知ってもらいたいです。「みなとみらいってすごい」「また行きたい」「みなとみらいっていいな」って言われるようになってほしいです。

Q4 | みなとみらいの存在をひと言で言うと？

青春の場所

本物の**ドリームランド**

住んでみたら**想像の10倍快適で楽しかった街**

横浜の顔

常に新たな取り組みや実験が行われている、**未来に向かったワクワクする街**

創造実験都市

みらいと過去が**交差する場所**

市と住民と企業の**コラボでつくる街**

美しく楽しく幸せのある

誇らしい街

最高の**遊び場**



© 森日出夫

[協賛パートナー]



ウエキ園芸株式会社 / 株式会社MYプロパティ / 岡田ビル株式会社 / 株式会社角川アスキー総合研究所 / 京浜急行電鉄株式会社 / 株式会社コーエーテクモゲームス / 株式会社ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局 / 株式会社JTB 横浜支店 / 首都高速道路株式会社 神奈川局 / 株式会社ソーエー / 株式会社そごう・西武 そごう横浜店 / 株式会社tkvコミュニケーションズ / 日揮ホールディングス株式会社 / びあ株式会社 / ヒューリック株式会社 / 株式会社村田製作所 / 山田株式会社 / 医療法人社団 優和会 湘南健診クリニック ココットさくら館 / 株式会社横浜赤レンガ / ヨコハマグランドインターコンチネンタル ホテル / 横浜商工会議所 / 株式会社横浜ステーションビル CIAL桜木町 / 株式会社横浜都市みらい / 横浜ベイホテル東急 / 横浜ロイヤルパークホテル

[特別協力] 横浜市

この冊子の作成、40周年記念事業の準備にあたり、地区内の事業者等で構成する実行委員会やワーキンググループを中心に話し合いを重ね、多くの関係者のご支援・ご協賛をいただきながら一緒に進めてきました。お世話になった方々に深く感謝します。この冊子がお読みいただいた皆様の街の将来を考える一助となり、今後の街づくりの一層の発展につながれば幸いです。

みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会
委員長 池本裕生

みなとみらい40thメモリアルブック

2023年10月27日発行
発行 / みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズスクエア横浜
クイーンモール3階(一般社団法人横浜みなとみらい21内)
<https://minatomirai21.com/sp/mm40th>

株式会社角川アスキー総合研究所
〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8
<https://www.lab-kadokawa.com/>

編集・文 / 那須亜友美、川端美穂、船橋麻貴
デザイン / メタ+マニエラ DTP / 暁和 校閲 / 草樹社
印刷・製本 / TOPPAN株式会社
©みなとみらい21地区着工40周年記念事業実行委員会
©2023 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc. Printed in Japan

本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡および配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

●お問い合わせ 角川アスキー総合研究所サポート事務局
0570-00-3030 <https://www.lab-kadokawa.com/support/>

※製造不良品につきましては上記事務局にて承ります。
※記述・収録内容を超えるご質問には、お答えできませんので、ご了承ください。
※サポートは日本国内に限らせていただきます。

この活動は公益信託みなとみらい21まちづくりトラストの助成により実施しています